ご挨拶

彩企業年金基金
理事長 北林 辰哉
（株式会社 丸一）

事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、3月13日に開催された第7回代議員会にて、2019年度の予算等の審議事項にあたり承認をいただきました。設立以後順調な運営を維持できましたことも、偏に事業主さま、加入者さまの温かい御厚情の賜物と深く御礼申し上げます。

内閣府の発表によりますと、2018年の国内景気は世界経済の緩やかな回復・企業収益の回復・雇用所得環境の改善と消費の持ち直しの3点による長期の景気回復が持続している状況です。デフレではない状況を実現する中、名目ＧＤＰの伸びが高くなっていることに加え、女性や高齢者の労働参加による雇用者数の増加などにより、就業者数の増加幅がバブル景気と同程度になっている点が今回の景気回復の特徴とされています。

今後のリスク要因として、米中間の通商問題や米国の金融引き締め、英国のEU離脱など海外経済の動向に注視する必要があります。また、本年10月よりいよいよ消費税が10%に増税されることなど、国内においても経済環境の変化を見極めていくことが求められます。当基金といたしましては、皆さまの給付を守り、老後の生活を支えられるよう、より一層健全な運用と運営に努めてまいる所存でございます。

当基金は今後も事業所さまの更なる発展とそこで働く皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、一層業務に邁進する所存でございますので、どうかこれまで以上にご理解とご協力をお願い申し上げます。